

適用規格		UL認定品 (E52653)				
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃		
	電 圧	AC 60 V , DC 60 V	電線サイズ	AWG #26 MAX (NO. 1, 3, 4, 6) AWG #20 MAX (NO. 2, 5)		
	電 流	端子NO. 1, 3, 4, 6: 1 A 端子NO. 2, 5: 4 A	適合ケーブル	φ5±0.2		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○	
機械的	耐電圧	端子間、端子-シールド間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
	コネクタの挿抜力	φ0.53±0.003 の鋼製ピンで測定する。(1A用端子) φ0.68 ^{+0.003} ₋₀ の鋼製ピンで測定する。(4A用端子)	挿抜力 0.15 N 以上 (1A用端子) 挿抜力 0.2 N 以上 (4A用端子)	○	—	
性能	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構を除く。	挿抜力 25 N 以下	○	—	
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—	
環境的	耐振性	周波数 10～ 55～ 10Hz, 振幅 0.75mm 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
性能	コネクタ破壊強度	適合コネクタをかん合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	100N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—	
	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90～95 %中に 96時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高温時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
環境的	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	電氣的・機械的機能 (互換性) を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
性能	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
環境的	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 5±1 秒間ソルダ・ホット部へ当てる。	外観に機能を損なう変形及び著しいガタがないこと。	○	—	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし、はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—	
性能	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深 1.8mlに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧 17.6kPaを 30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
備考	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	0					
	試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)			承認	HY. KOBAYASHI	18.02.22
				検 図	HY. KOBAYASHI	18.02.22
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			担 当	TY. SUZUKI	18.02.21	
			製 図	HM. SAITO	18.02.19	
図番			SLC-119202-31-00			
HRS	製 品 規 格 表		製品名	LF07WBP-6S-A (31)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-0029-0-31	△ 1/1	